

## ○三陸北部森林管理署の「採材現地検討会」に出席しました。

青森事務所では毎年、森林管理署等の採材検討会に参加し、技術指導や情報提供などを行うことで、国有林材を円滑・効果的に活用するよう努めています。令和6年9月5日（木）に岩手県宮古市江繋字早池峰山国有林で開催された「令和6年度 採材現地検討会」に、青森事務所から2名出席してきました。

当日は晴天のなか、林業関係団体や県・市町村担当者、署管内の林業事業者など60名を超える参加を得て開催されました。三陸北部森林管理署長の挨拶後、署の担当者より現地概要の説明があり、次いで青森事務所から東北森林管理局管内の需要動向についての説明とともに、今年度の委託販売結果、スギ等針葉樹の4m採材の推進、請負事業実行時の留意事項について説明しました。その後、署の担当者より採材の基準等について説明があり、実際の採材の検討に移りました。

会場に準備したスギ・カラマツ各1本、広葉樹2本の計4本の試供木を対象に5班に分かれ採材の検討を行いました。各班による試供木の検討後、各試供木について各班から採材案の説明があり、それに対して株式会社ウツティかわい、岩手県森林組合連合会より採材の解説や留意事項などの情報提供がありました。丸太を利用する側から、利用上どのような丸太が問題となるのかを伺うことができ、針葉樹採材の注意点や広葉樹の一般材採材への理解を深めることができました。最後に青森事務所から、採材検討の講評と労働安全等についてお話をいただき採材検討会を終了しました。

午後からは簡易架線集材現地検討会も行われ、実際の簡易架線集材の様子を見学しながら、簡易架線の導入等について活発な意見交換が行われました。

青森事務所では今後も採材検討会や労働災害防止協議会へ積極的に参加し、国有林材の有効な利用と労働安全に貢献して参りたいと考えています。



（各班による採材案の説明）



（広葉樹の採材解説）